

世界の石材 in SekiStone

日時 2012年1月13日(金)9:30~18:00 大学北門集合・解散

場所 (株)関ヶ原石材 (岐阜県不破郡関ヶ原町)

<http://www.sekistone.com>

対象者 理数学生応援プロジェクト登録者(1年優先)

定員 先着15名 (貸し切りバス)

参加費 無料

申込み方法 2012年1月10日(火)までにメール
(risuouen@shinshu-u.ac.jp 宛)に申し込んでください。



<研修の目的>

巷にはいろいろな石材をみかける。建物の壁として街を飾りあるいは土台となっている。神社や石垣などにはごく身近な岩石が使われているが、今日本で利用されている石材はほとんどが輸入されている。北欧、インド、中国、ブラジル等々が原産国で、原石は石材会社が需要に応じて加工している。今回、(株)関ヶ原石材を訪れ、石材の加工と活用現状を知る機会としたい。

また、大型切断機による岩石の大判の切断面を観察する機会でもある。大判の切断面には、通常の手標本では見ることのできない、岩石のマクロな残留組織を目にすることができ、それは岩石の過去の履歴や起源を推察する有力な手がかりとなる。世界の岩石を閲覧し、岩石の色彩、質感、模様、粒度、構成物など観察の視点を学ぶ。岩石はマクロからミクロになると一変して異質な様相を呈する。高年時に学ぶ岩石のミクロ組織観察への入り口ともなる。なお、標本を採取して持ち帰り、より詳細に調べることも可能である。

<課題と成績>

- 参加者は科せられた課題を期限までに提出すること。
- 研修で学んだ事項についてKisorigakuへ投稿すれば、新入生ゼミナールIIの実績の一部として評価されます。(グループ単位)

関ヶ原本社 ゲストルーム



申し込み・問い合わせ : 理数学生応援プロジェクト事務局
(担当 川根: risuouen@shinshu-u.ac.jp)